

バンベルク交響楽団メンバーによる
ミニ・コンサート {弦楽アンサンブル} を終えて

生活創造空間

にし
NISHI

～アンラシネを目指します～

第 37 号 2018 年 7 月 20 日発行



『ドイツの名門オーケストラ「バンベルク交響楽団」横浜公演（6／28横浜みなとみらいホール）の開催にあわせ、前日の6月27日に楽員数名によるミニ・コンサートを開催します。西区地域自立支援協議会と共催し、所属施設の利用者を中心に参加者を募ります。横浜みなとみらいホールにご来場いただく機会をつくり、一流奏者のクラシック音楽をお楽しみいただきます。』＜横浜みなとみらいホール＞

『横浜みなとみらいホールから大きなプレゼント。上記企画を頂きました。西区地域自立支援協議会としてお受けし（共催）加盟施設に発信させて頂きます。子ども・障がい児者・高齢者・そしてご家族・職員等が一同に会し「いい音」に出会うのも西区協議会らしいのでは。多くの参加を願っています。』＜西区地域自立支援協議会＞

4月過ぎてこの話をいただき。上記紙面を作り6月27日に向かっていきました。実行委員会の形をとり、第1回は4月27日に開催しました（この企画は進めている側がとても楽しいものでした）。委員会については計2回開催。直前にミニ委員会を実施して最終確認。こんな感じで27日を迎えました。これも実行委員・他スタッフそしてみなとみらいホール側の丁寧で確実なサポートがあったために。こんなことが出来ました。

今回事業の発信源ヤクブ・フルシャさんそしてバンベルク交響楽団にはただただ心をこめて「御礼」です。フルシャさん含め楽団の方々には本当に「あったか」な方だった。舞台上でも楽屋でも変わらない心含めての振る舞いは「さすが！」と思いました。



そして終わって多くの感想をいただきました。

①初めてオーケストラを生で聴きました。曲の **STORY** を始まる前に説明して下さったのでイメージがしやすく良かったです！うちの11ヶ月の赤ちゃんは、演奏が始まるとすぐにスヤスヤと眠ってしまいました。私も一時、忙しい日常を忘れてリラックス出来ました。

またこのような機会があれば是非来たいです。(赤ちゃんがもし泣いても大丈夫と思えるのが大変心強かったです)。

②音色がとてもきれいで心がなごみました。子どもを連れてのコンサートはあきらめていたので、このような機会に恵まれて感謝します。

③30才代からの久しぶりの本格的コンサート。感激・感謝。

④とても素敵な時間でした。もう少し長く聴いていたかったです。

⑤企画も素晴らしいしとても良かったです。子どもの声がうるさすぎます。良さが半減。飲食禁止にして下さい。託児サービスがあればいいですが・・・。

⑥子どもを授かってから生の音楽に触れる機会はほとんどなく、ましてクラシックのコンサートなど、しかも、みなとみらいホールで気兼ねなく楽しむことなど夢のようでした。楽団の皆様・企画運営の皆様本当にありがとうございました。

⑦障がいのある方、子どもたち、ご家族。本物の会場で本物の音楽を聴く機会がなかなか持てないのが現実です。今回このような時間が持て『本物』にふれるチャンスをいただいたことに感謝します。そして『本物』は素晴らしい！！本当に素晴らしい！！ありがとうございました。



上記は一部ですが多くの賛同のアンケートをいただきました。子どもの泣き声がというご意見も排除ではなく、どうしたらこのようなコンサートがうまくいくかどうかの提起と受け止めています。様々な人がいるこのようなコンサートを2回3回と重ねる中で全体が創られていくような思いでいます。そんな思いもあり。また来年やってみたいですね・・・。

終わりにヤクブ・フルシャさん・バンベルク交響楽団・KAJIMOTO 音楽事務所・横浜みなとみらいホール・西区地域自立支援協議会メンバー・実行委員会メンバー・協力スタッフそしてこの企画に賛同し参加して下さい皆さまにこころこめての「感謝」を終わりに！！

(西区地域自立支援協議会 渡辺幹夫)

みんなの節供

今回は2回分のみんなの節供の報告をいたします。まずは、平成30年5月11日（金）、生活創造空間にしにて、1週間遅れのみんなの節供「端午の節供」を行いました。

こどもから大人から障がいのあるなし関係なく、121名と沢山の方に来て頂きました。

1部はおもちゃのはこさんのコンサートです。端午の節供らしく手作り兜の配布もあり、頭に兜を被ってのコンサート参加になりました。

2部は5階食堂に会場を移して、バイキング。メニューはいつもの唐揚げやポテト、餃子などに加え、今回はスカイキング（天王町にあるピザ屋さんです。）からピザも加わり、大人気でした！

おもちゃのはこさんによるお馴染みのオープニングコンサート



新旧館長も子どもの日を満喫していました

今宵も賑わうみんなの食堂



三浦創生舎のギョーザ！
美味しい匂いが立ち込める！

昨年の7月に始まった、「みんなの節供」。今回の七夕（平成30年7月6日）で3年目となります。前半のコンサートには、約70名。バイキングには、なんと約130名の方々が参加されました！今年も、おりひめとひこぼしの再会をみなさんと喜びことができましたね。

1部はおもちゃのはこさんとショコラッティさんによるコンサート。「世界が一つになるまで」をみんなで歌ったりしましたね。今回は吉田先生による、大きな大きな竹の水墨画も天高く飾られました。

2部は5階食堂にてバイキング。焼きそば、唐揚げ、ポテト、豚しゃぶサラダ、エビフリッター、枝豆、スイカ、ケーキなど、夏らしい料理やデザートもあれば、ピザや餃子など、お馴染みとなっている料理も並びました。食堂以外のお部屋を使うくらいたくさんのご来場がありました。

バイキングの後は、帰りのエントランスの笹に願い事を書いた短冊を吊るしました。

今回はショコラッティさんとのジョイントコンサート

満員御礼！



織乃姫子と
星乃彦太郎！

星に願いを。
天の川にお願いを。

おでかけ3 進捗報告！

ねくさす 森 博宣



「おでかけ3」とは、第3地区独自の移動支援バスのことです。この構想のきっかけは平成28年度に藤棚地域ケアプラザで行った第3地区の高齢者対象の「日常生活に関するアンケート調査」やヒアリング結果によるものです。その中で「山・坂・階段が多いため、買い物に苦労している。」と返答した方が、全体の約7割近くいました。『第3地区を自由におでかけできるようにしよう。』という希望を込めて、移動支援バスには「おでかけ3」と名前をつけています。また利用の対象は高齢の方に限らず、子育て中のご家庭、お子さま、障がいをお持ちの方、その他何らかの理由で移動に困っている全ての方を対象とし外出を支援することで、人と人、人とまちをつなぎ、地域の活性化につながると良いな、という思いのもと、「おでかけ3」の構想が立ち上がった次第です。

5月20日(日)地域行事の『ふれあい春まつり』に合わせて、『おでかけ3』初回試行運転を実施致しました。当日は地域の方によく知って頂いて、たくさんのご利用を頂いた！…とはいかなかったかもしれません。しかし、多くの方が気にかけてくださり、励ましのお声掛けを頂きました。また、実際に試走している中で、特に藤棚町交差点の第七有隣堂から県営アパートに続く願成寺坂を車で通ると、高齢の方が上り坂を休み休み歩いている姿が、複数回、見受けられました。こうした企画でしたので車を停めてお二人の方にお声掛けさせて頂いたところ、たまたまお一人は『おでかけ3』を知って頂いていた方だったので、ご乗車頂くことが出来ました。しかし、もうお一方は恐らくご存じでなかった為に、ご乗車いただけませんでした。考えてみれば当然ですね。いきなり見知らぬ男性に声を掛けられて車に乗るなんて不用心極まりないことです。只、一方で地域の方への『おでかけ3』の周知がすすめば、こうした形での利用も一つだなと一縷の望みに気付けた出来事でもありました。



先日公募しました『おでかけ3』のロゴマークには小学生含め、地域の方から193枚ものご応募を頂きました。厳正なる審査の末、実際のロゴマークとなる最優秀作品1つ、優秀作品5つを選定し、先日7月11日(水)の第3地区地域のつどいで発表、お披露目をいたしました。今後選ばれたロゴマークを引っ提げて『おでかけ3』は街中を疾走する予定です。またその後のグループワークでは地域の集いに参加されていた多くの地域の方に貴重なご意見を頂きました。

実際、運営していくにはまだまだ乗り越えなくてはならない課題が山積しています。この山を乗り越えるには多くのアイディア、力が必要になることと思います。先日のつどいの時の様に多くのご意見いただいて、地域の方にひろくご利用いただける様、今後も準備してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



2018年度 生活創造空間にし研修 いよいよ始動！

今年度、満を持して生活創造空間にし研修が始動します。

今年の6月で生活創造空間にしが開所して10年目を迎えました。そして生活創造空間にし研修も10年目。今年度の生活創造空間にし研修は、10年の間、今まで行ってきた研修・学んできた内容について、変わったこと、変わらないこと、それぞれについて、振り返る研修会とさせていただきます。この10年で地域の方、支援者の方、当事者の方等たくさんの方々が参加してくださりました。皆さんと一緒に、この10年を振り返りましょう。

(年間予定)

第1回 平成30年8月24日(金)

「西区に合ったつながりを創っていくために」 について振り返る

～生活困窮者支援からみた地域のつながり～

講師：日本大学 准教授 後藤 広史

第2回 平成30年9月

「津久井やまゆり園でおきたことについて考える」 について振り返る 講師：調整中

第3回 平成30年10月27日(土)

「町田とびたつ会」の歌声を再び！！

講師：町田とびたつ会

第4回 平成31年1月

「障害者権利条約」について振り返る

講師：調整中

第5回 平成31年3月

「西区地域自立支援協議会」について振り返る 講師：西区地域自立支援協議会メンバー（検討中）

(第1回目について)

今年度、第1回目は、昨年度行った「西区に合ったつながりを創っていくために」について振り返ります。高齢福祉、児童福祉、障がい福祉、社会的孤立、貧困・格差の問題などが多様化・複雑化・深刻化しているのは横浜市西区でも同様で、少しずつできつつある西区の顔の見える関係が、分野を超えてどのようなつながりを創れるのかをそれぞれの現状と課題を話しながら考えました。今回は、生活困窮者支援という切り口から地域とのつながりについて考えます。

日 時：平成30年 8月24日(金) 18:00～20:00

会 場：生活創造空間にし 5階食堂

講 師：後藤 広史さん



日本大学 准教授 文理学部社会福祉学科

1980年生まれ

専門は社会福祉、貧困問題。

《著書》

「ホームレス状態からの『脱却』に向けた支援」

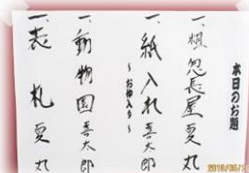
「ソーシャルワーカーのジリツ」

「貧困・ホームレス問題から見た社会福祉学の課題」

にぎわい&にしよこ寄席 其の十二 5月26日(土) 報告

桂夏丸師匠が、真打昇進の初お披露目ということで一席。
続いて、伊勢原生まれの昔昔亭桃太郎さん(二つ目)も、兄さん(夏丸さん)に続けと熱の入った芸を届けてくださいました。ありがとうございました。

次回は8月25日(土) 13時からとなります。



名人 桂歌丸さん逝くー

ご協力、共催をいただいています、「横浜にぎわい座」の館長でもいらっしゃった歌丸師匠の残念なお知らせは、皆様もすでにご存じの事とは思いますが。

地元真金町、横浜をこよなく愛した師匠が逝かれてしまったこと、一度は、この「にぎわい&にしよこ寄席」、生活創造空間にしの舞台に上がっていただき、噺家、歌丸師匠の名人芸を堪能したいと楽しみにしていた一人としては、残念で仕方がありません。この場をお借りして、ご冥福をお祈り申し上げます。

(松乃家 ふくかん)

男 もや田のもやもや日記

今年はサッカーワールドカップで大いに盛り上がりましたね。

日本もベスト16進出と大健闘しました。

また、2019年は、ラグビーワールドカップ、2020年は東京オリンピックと、連続して日本で開催される大きなスポーツ式典が予定されています。

そして、日本人選手のロッカールームを綺麗に使用する事や、サポーターの観戦後のごみ拾いなど、世界中から称賛されました。しかし、今年のワールドカップのように、交差点でのハイタッチや、河川への飛び込みなど、全く持って意味の分からない風習ができつつあることに対して、非常にもやもやしています。もはや、試合は見えていなかったの

ではないかと疑いたくなるスピードで交差点に集まる人々。

否定はしませんが、日本で開催される国際的なイベントで、他人へ迷惑になるようなことは避けていただきたいと心から思います。

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)